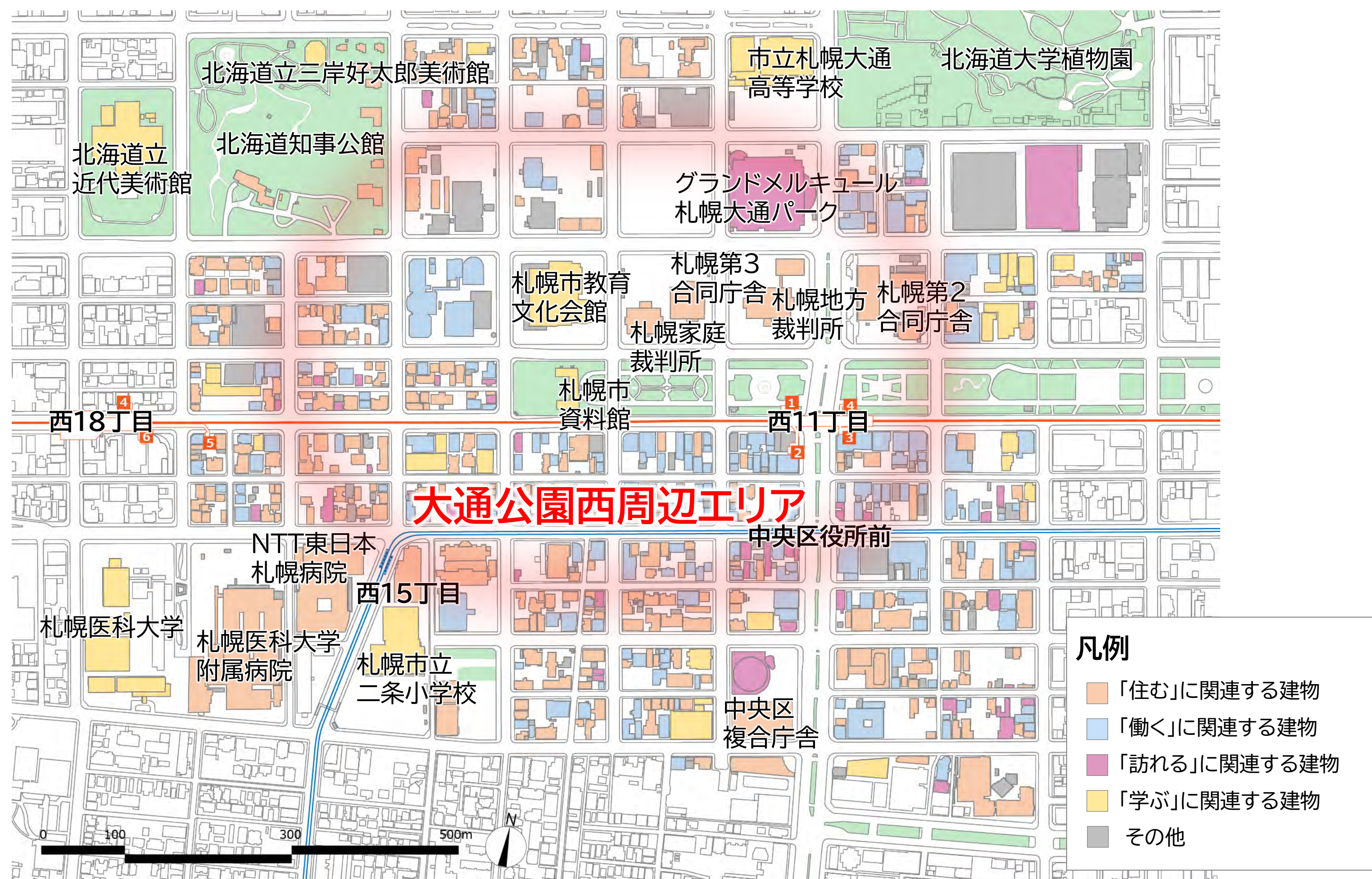


エリアの魅力と課題

大通公園西周辺エリア 地域の特徴を生かしたまちづくりの検討

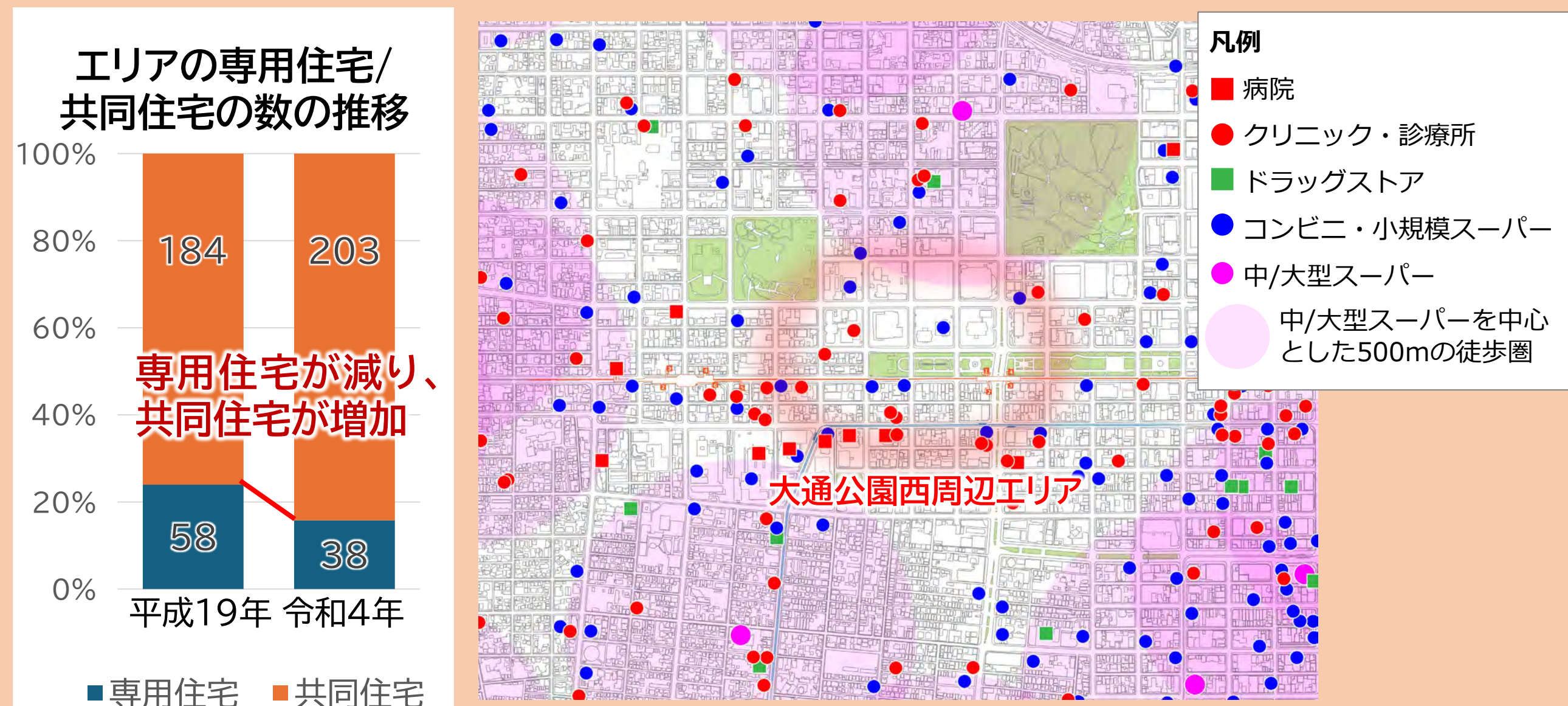
大通公園西周辺エリアは、「住む」「働く」「訪れる」「学ぶ」といった多様な人々が、多様な過ごし方をしていることが特徴です。



建物用途	過ごし方
住宅系施設(マンション、戸建住宅など)	住む
医療・社会福祉施設(病院、社会福祉施設など)	
公共・自治体施設(合同庁舎、札幌市の施設など)	
業務施設(オフィスなど)	働く
専用店舗施設(商業施設など)	訪れる
宿泊施設(ホテル・旅館など)	
教育・文化施設(学校、保育園、文化施設など)	学ぶ
立体駐車場等	その他
その他(宗教施設、放送局など)	

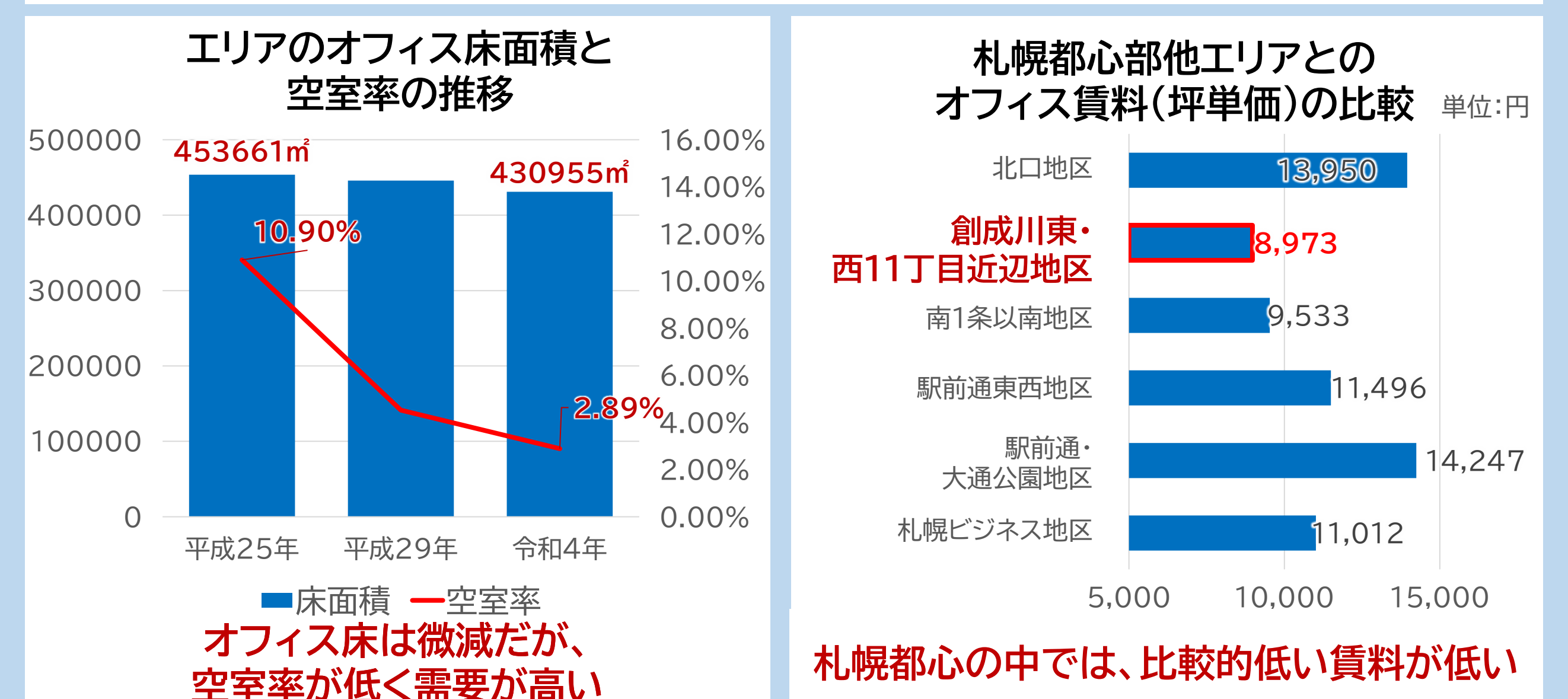
住むに関する魅力・課題 都心の利便性を享受できるまちなか居住エリア

- ・マンションが増加し、まちなか居住が進行している。
- ・病院などの医療施設が比較的充実している。
- ・コンビニ・小規模スーパーなどは充実しているものの、中/大型スーパーは少ない。
- ・一人世帯の人数比が、中央区、全市と比較して高い。



働くに関する魅力・課題 専門職・地元企業が集まるまち

- ・オフィス床はおおむね横ばいで、空室率は低く需要は高い
- ・札幌都心の中では賃料が比較的低い
- ・弁護士・税理士など士業の事務所が多数集積
- ・働く人がアフターファイブを過ごせる場づくりが今後の課題



訪れるに関する魅力・課題 歴史資源/個性的な店舗が点在するまち歩きスポット

- ・通行・滞在人口の半数以上が来街者
- ・歴史資源や大通公園を含む景観資源が点在している
- ・都心の中心部から徒歩10~20分の“少し離れたにぎわいエリア”
- ・個性的なカフェや雑貨店がまちの魅力を高めている



そのほかの魅力① アクセスが良い

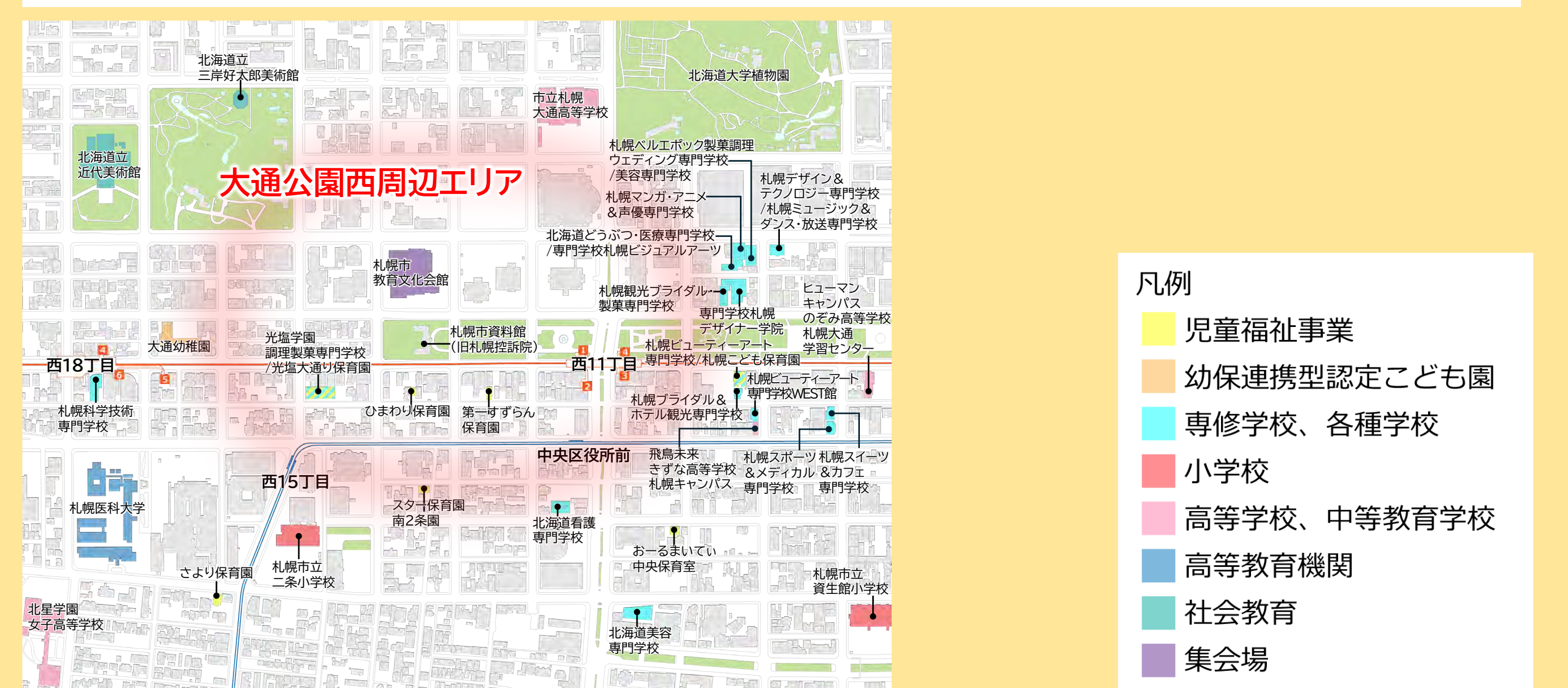
- ・地下鉄・市電・バスが近接しアクセス性が高い
- ・生活関連経路の多くでバリアフリー整備が進行
- ・空港・近郊都市への直行バスがある

そのほかの魅力② 公共施設や公共的空間が充実

- ・大通公園が一時避難場所、教育文化会館などが避難所に指定
- ・公共施設・文化施設がコンパクトに集積し、エリアを回遊する際の中心地となる

学ぶに関する魅力・課題 学校と文化施設が揃う“学びの拠点”

- ・専修学校などの教育機関が立地
- ・美術館や資料館、教育文化会館など社会教育施設も充実
- ・学生や子どもから大人まで、幅広い世代が学びに触れられる
- ・将来のまちづくりの担い手となる若者が多いポテンシャル



そのほかの課題① 老朽化した建物が多い

- ・旧耐震基準の建物が全体の約4分の1
- ・特に南1条通や大通公園沿いに多い
- ・災害時の安全性向上に向けた建替え・耐震化が課題

そのほかの課題② 大通公園とのつながり

- ・大通公園との一体性に配慮した設えの建物を増やす必要性 (店舗・事務所等の大通公園への顔向け、駐車場出入口の配置の工夫など)